

## 第4回 草津市南草津エリアまちづくり推進懇話会 会議録

- 日時：令和3年1月20日（水）14：30～16：00
- 場所：フェリエ南草津5階 市民交流プラザ大会議室
- 出席委員：武田座長、棚橋副座長、石垣委員、田村委員、橋本委員、花澤委員、足立委員、有村委員、笠井委員、新谷委員、長谷部委員
- 欠席委員：梅村委員、岡井委員、伊藤委員、野口委員
- 傍聴者：2名
- オブザーバー：昭和株式会社2名
- 事務局：総合政策部草津未来研究所 堀田理事、本村調整員、中瀬参事、坂居専門員  
総合政策部兼都市計画部 一浦副部長

### 1. 開 会

#### 【堀田理事】

皆様、あらためましてこんにちは。本日はお忙しい中、御出席賜り、ありがとうございます。本年もよろしく願いいたします。

さて、現在、滋賀県の近隣の府県にも新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言が発令されまして、滋賀県においても独自の医療機関非常事態宣言をされ依然として緊迫した状態が続いております。この大変な中お集まりいただきましたこと大変ありがたく思っております。

本日は南草津エリアまちづくり推進ビジョンの素案を議題とさせていただいております。委員の皆様とともに策定するみなくさビジョンがいよいよ具体的な形となって見えてまいりましたので委員の皆様には忌憚のない活発な意見を頂戴したいと思っております。よろしく願いいたします。

#### 【事務局】

ありがとうございました。

それでは、次に配布資料の確認をさせていただきます。

(配布資料の報告)

なお、本日の傍聴者の方が2名おられますので、よろしく願いいたします。

また、梅村委員、伊藤委員、岡井委員、野口委員については御欠席の御連絡をいただいております。御欠席の委員の皆様には後ほどメールで等で意見を賜りたいと存じます。

それでは、ここからは座長に進行をお願いいたします。武田先生よろしく願いいたします。

### 2. 報 告

#### 【座長】

ここからは次第に沿って進めていきたいと思っております。

事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

(参考資料2について説明)

**3. 議題**

(1) 南草津エリアまちづくり推進ビジョン（みなくさビジョン）素案について

**【座長】**

それでは、次第の「3. 議題」に移らせていただきます。

南草津エリアのコンセプト案について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

(資料1、資料2、参考資料1、参考資料3について説明)

**【A 委員】**

素案を見た時に、率直に難しいと感じました。情報としては大切な部分がありますが、読むには少し難しいと思います。

また、資料の中で市民がどのように能動的に関わっていけるかリソースを提示していただくとありがたいです。南草津であればUDCBKなどのように、まちづくりに参加する上でどのようなリソースがあるかという資料があると、市民が関わりやすいと思います。

**【座長】**

ビジョンの実現に向けて、参考資料のところにそういった資料があると良いと思います。概要版は要約としてビジョンの最初の方に入るのでしょうか。

**【事務局】**

市民や行政の役割をどうしていくのかということも大事な視点ですので、推進体制もしくは参考資料に入れるか検討したいと思います。概要版は別立てで考えています。

**【座長】**

学生の論文も最初に概要版が差し込まれる構成にしています。一番分かりやすい施策の体系に辿り着くまでに時間がかかるので、最初にあると良いと思います。

**【事務局】**

行政計画ではあまりありませんが、一度検討してみます。

**【座長】**

各主体の役割について、現在は推進体制のところに図としてあるだけですが、それぞ

れの立場と関わり合いを書いていくということでしょうか。

**【事務局】**

そういった視点を入れて検討します。

**【B 委員】**

推進体制について、地域まちづくりセンターを中心とした地域活性化プロジェクトとありますが、市は地域まちづくりセンターにどのような役割を与えることを意識して記載されたのでしょうか。

**【事務局】**

地域まちづくりセンターでは、各学区のまちづくり協議会に指定管理等をしていただき、自主的なまちづくりを行っていただいています。

その中で南草津エリアの老上、玉川、矢倉学区は、施設の老朽化を踏まえ施設の更新をしていきます。更新の際に、従来の役割に留まらず色々な付加価値を持たせた課題解決型の地域まちづくりセンターとして、まちづくり協議会の皆さんと共にしっかり考えていこうということで、位置づけさせていただきました。

**【B 委員】**

具体的には従来の地域まちづくりセンターの位置づけより一段階上げて何か役割を与えるということでしょうか。

**【事務局】**

例えば老上学区で申しますと、隣に消防団、備蓄倉庫があり、消防団と連携した防災拠点として複合的な利用が想定できます。地域の皆さんが主体となって、従来のまちづくりセンターに留まらず、付加機能や周辺施設との連携を視野に入れて考えていくことが良いのではないかと思いましたので、このように位置づけさせていただきました。

地域の皆さんがこういう地域まちづくりセンターにしたいというビジョンを描かなければ実現に向かっていけませんので、まちづくり協働課が地域の皆さんの間に入っていただき、基本計画や実施設計をしていくという形になると思いますので、よろしくお願いたします。

**【座長】**

推進体制について、組織体系を伝えたいのか、色んな人たちが関わってプロジェクトを進めていくという旨を伝えたいのか分かりづらいと思います。

**【事務局】**

先ほどあった各主体の役割も含めて整理させていただきたいと思います。

**【C 委員】**

ゾーニングの「連携交流」という表現について、「交流」という言葉は基本方針3にも使われています。同一単語は読んだときに引っかかるので、ゾーニングには使わない方が良いのではないのでしょうか。

**【座長】**

ゾーニング図において「連携交流」は、矢印としてそれぞれの拠点との関わり合いを示しており、「連携強化」などに変えると良いと思います。

**【C 委員】**

「連携交流」について、「エリア内の連携強化、広域からの交流促進」とありますが、「エリア内及び広域との連携強化」とすれば良いのではないのでしょうか。「交流」は基本方針の重要なキーワードですので、ゾーニングでは避けたほうが良いと思います。

**【座長】**

ゾーニング図には「ゾーン」も出てくるので、言葉の整理をもう一度していただきたいです。

また、ビジョンに反映されたワークショップでの意見が整理されていたと思いますので、ワークショップの提言のページに載せていただければと思います。

**【B 委員】**

ワークショップ成果の資料に、素晴らしいパースがあります。これを夢という形で皆さんが見られる機会を設けてほしいと思います。

**【事務局】**

2月17日の18時からワークショップの報告会を実施予定です。コロナ対策でオンラインを中心としておりますが、UDCBKでも10名まで入れるようになっていきますので、お時間があれば見に来ていただければと思います。また、完成したパース図はUDCBKに展示するなど、広く皆様に見ていただける機会を設ける予定です。

**【座長】**

そのような機会はまた皆様に御案内いただけると思うので、ぜひ拡散していただければと思います。

#### 【D 委員】

ワークショップのように既存のものを全て真っ白にするのはお金と時間さえあれば簡単ですが、もう少し既存の集落などを活かしたまちづくりが必要なのではと思います。歴史を活かしていただきたいという話を以前させていただいて会議録にも載せていただいています。全て潰されてまちづくりが進むことに喜ぶ方がいる反面、自然がなくなると考える方もいることを認識していただきたい。遺跡や歴史が住宅に埋もれてしまうことが危惧されるのがまさに南草津の現状ではないかと思います。0からではなく50から考えるのも大事だと思います。

#### 【座長】

ワークショップでは各班でシナリオを描き、未来予想図が出来上がっていますが、ここに描かれていないシナリオもあるということを班の皆さんがまとめています。

また、コンパクトシティや交通の問題を踏まえた上で、歴史そのものではないかもしれませんが、できる限り自然を新しい形で取り戻していけないかといったことも含めた考えになっています。

これでいいということではなくて、議論を進めていくきっかけとしてこのような絵を描いていただいたのではないかと考えています。

事務局ではせっかくこれだけ描いていただいたので載せていこうということでしたが、参考資料としてワークショップではこういった内容があったという扱いにしてはどうかと思います。

#### 【D 委員】

コミュニティがなくても個人でも生きていけるという考え方が、まちづくり協議会でも進んでしまっているのが現状ですが、今のまちでも浸透してしまっているのではないかと思います。

#### 【C 委員】

過去の議論の中で防災意識の高まりが感じられるということで、施策の中にも防災という言葉を入れていただいているのはいいですが、推進体制に防災という言葉が入っていないのが非常に残念です。防災は市民の皆さんが自分に関連するテーマだと捉えられると思いますし、安全安心というからには防災という言葉が入った方が良く感じました。例えば、施策の「地域再生拠点の形成」というところを、「地域再生・防災拠点の形成」とすれば良いと思います。

**【事務局】**

地域まちづくりセンターは避難所にもなっていますので、ソフト的な展開も含めて考えていきます。一方で、河川改修などのハード面を含めて防災まちづくりを進めていく必要があると思いますので、御指摘いただいた内容を反映する方向で整理したいと思います。

**【座長】**

まちづくりと防災を絡めた実例もありますので、参考資料にこういったことが取り組まれているというような紹介もあれば良いのかもしれない。

**【E 委員】**

大津市の青山や松が丘は生活拠点が南草津になっていますので、特に交通などに関しては連携していった方が良いのではないかと思います。

**【事務局】**

草津市の計画ですので、草津市民の皆さんに対しての計画を考えているところです。一方で御指摘はその通りですので、一度検討させていただきたいと思います。

**【F 委員】**

今後、社会情勢が変化していくと思いますので、このビジョンをベースにしながらフレキシブルに進めていった方が良いのではないかと思います。

**【座長】**

推進体制に「プロジェクト実現に向けた研究会やプロジェクトの推進体制を構築し」とあるように、行政のプロジェクトというよりは世代や主体を超えた研究会ができれば良いと思います。

**【G 委員】**

非常に分かりやすくなったなというのが印象で、ワークショップ成果のビジュア化されたものが一番ダイレクトに伝わりやすいと思います。未来のまちがこうして絵で見られることはとても良いと思います。

前回、将来像に南草津エリア感が少ない、企業と大学が地域に折り合ったら良いのではないかと指摘させていただいたのですが、産学連携というのほどこにでもある話で、南草津らしさのフックになるものといえば、琵琶湖が近いこともあり、環境や省エネだと思います。推進体制の「学術・研究複合連携プロジェクト」の中に、環境や省エネ、SDGs といった持続可能な社会づくりなどのワードを入れていただくと、南草津なら

ではのビジョンが鮮明になるのではないかと思います。

ワークショップ成果にフェリエのオープン化という提案があったように、フェリエを基盤にして大学や企業、市民が寄り合ってSDGsのようなことをテーマに物事を考えていくことができれば、南草津のビジョンを鮮明化していくのではないかと思います。

#### 【H 委員】

ワークショップに参加していたのですが、色々な意見が集約されてこうした素晴らしい絵になっていることに感動しました。文章がたくさん並んでいるだけでは分かりづらいですが、絵はすぐ目に入ってきて分かりやすいです。

先ほど防災という言葉を加えるべきという意見がありましたが、私も同意見です。マンションがたくさん建ってきていますが、表札が無いところも多く誰が住んでいるのかわからないということもあり、どれだけの人が地域まちづくりセンターに避難してくるのか把握するのが難しいと思います。防災を大きく取り扱っていただきたいですし、責任をもって取り組んでいる区長の負担も減るのではないかと思います。

また、JR南草津駅が一番混んでいる時間帯で何かあった場合にどうするのかなど、細かい所も議論されれば良いと思います。

#### 【I 委員】

資料がとても分かりやすく、今まで議論されていた内容が詰まっていた良いと思いますが、核となる将来像について文字が並んでいるだけだとビジョンを描くのが難しいと思います。絵を描くのが最善かは分かりませんが、こういう未来を描いているというイメージが伝わりやすいような表現にすると良いと思います。

#### 【事務局】

将来像はキャッチフレーズだけですので、将来こういう状態を目指しますという言葉やイラストを用いるとイメージしやすいのではないかと思います。ビジュアル的にどう見せるか検討します。

#### 【A 委員】

将来像の「にぎわいのあるまち」の「にぎわい」は、何を指しているのでしょうか。人口が増えて住む人が増えることにもにぎわいと言えるかもしれませんが、人口が増える一方で人とのつながりが減ってくるという面もあるので、それがまちのにぎわいにつながるかは分からないと思います。ここのにぎわいはどういうイメージなのか気になります。

私は、住民同士で交流が生まれたり、広場で市民が色んな活動をしたりしているなど、市民が能動的にまちに関わるのがにぎわいだと思います。

**【事務局】**

にぎわいというのは単に市民の皆さんに留まらず、南草津に訪れた色々な皆さんが関わって、人の交流をもってにぎわいを出していくイメージです。皆さんに正確に伝わるように検討したいと思います。

また、今回は、指標の整理ができなかったですが、指標があればイメージしやすいと思います。

**【座長】**

目標の「多様な交流が生まれるにぎわいのあるまち」のにぎわいについては、「滞留・交流活動から魅力的な都市空間を形成し」とあるので、そこに人がいるという風景のことだと理解できます。

**【副座長】**

南草津はJR草津駅周辺と同等にまちづくりを進めていこうという市の思いもあると思いますが、住んでいる人は大きく変化しているところもあると思います。先ほど、大津市の人も南草津の公共交通機関を利用しているという意見もありました。

将来像、基本方針のところに「検討」という言葉もありますが、しっかり実現する方向に向かっていただくことが一番大切なことだと考えています。

ワークショップなどを重ねると色々な意見が出てきますが、一番実現に近いものから将来を見越して進めていただければと思います。

**4. 閉 会**

**【座長】**

そろそろ時間がまいりました。委員の皆様にはスムーズな議事の進行に御協力賜り誠にありがとうございました。これで議事は終了いたします。それでは事務局へ返します。

**【事務局】**

本日はありがとうございました。今まで4回の御議論いただいたので、少しでも皆様の御意見が反映できればと思います。

最後に御指摘いただいたように作るだけでは意味がないので、しっかり実行していくところが重要だと思いますし、そのためには、行政だけでなく、市民、企業、大学等の皆さんが目標を共有してともに実行していく体制をつくっていかねばと思いますので、次回はパブコメ案を見ていただいて御意見をいただきたいと思います。